

平群町基礎調査

都市間比較：平群町、生駒郡（三郷町、斑鳩町、安堵町）、生駒市、王寺町、奈良県

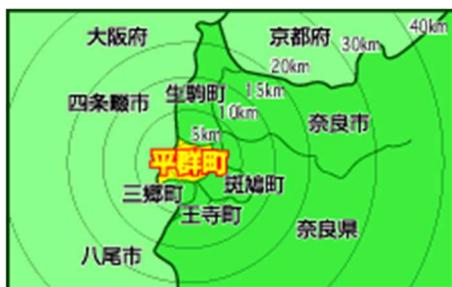
1. 平群町の概況.....	3
(1) 位置	3
(2) 地勢	4
(3) 交通条件	5
(4) 土地利用等.....	6
2. 平群町の現状と特性把握.....	8
2-1. 人口	8
(1) 人口・世帯動向	8
(2) 年齢別人口構成	10
(3) 家族類型	14
(4) 人口動態	15
(5) 人口流動	17
2-2. 経済・産業	18
(1) 産業概要	18
(2) 工業	19
(3) 商業	20
3. 都市間比較	21
(1) 人の状況	21
(2) 生活環境Ⅰ	22
(3) 生活環境Ⅱ	23
(4) 保健福祉	24
(5) 教育文化	25
(6) 産業	26

1. 平群町の概況

(1) 位置

- ・奈良県北西部に位置し、面積は 23.90 k m²で、東西に約 5.5km、南北に約 6.0km の町域となっている。
- ・北は生駒市、東は斑鳩町、南は三郷町、北西は東大阪市、南西は八尾市に隣接している。

【平群町の位置図】



資料：平群町ホームページ (<https://www.town.heguri.nara.jp/soshiki/5/4224.html>)

(3) 交通条件

- ・鉄道は、近畿日本鉄道の生駒線が南北に通り、「東山」「元山上口」「平群」「竜田川」の4駅がある。北は生駒駅で近鉄奈良線とけいはんな線に、南は王寺駅でJR大和路線と和歌山線、近鉄田原本線に接続している、
- ・路線バスは、奈良交通の子会社であるエヌシーバスが平群住宅線として5系統を運行している。
- ・コミュニティバスは、西山間ルートと南北循環ルートの2路線がある。

【バス路線】



資料：平群町バス路線マップ（平群町総務防災課）

(4) 土地利用等

- ・平成 31 年における土地の地目別面積をみると、全面積 17,058 千㎡のうち、山林が 9,280 千㎡で半数を占めている。次いで、田、宅地となっている。奈良県全体と比較すると、田と畑、宅地の割合が高く、山林と原野、雑種地の割合が低くなっている。
- ・平成 26 年と比較すると、山林が 391 千㎡、畑が 111 千㎡増加している一方で、田が 201 千㎡減少している。

【平成 31 年 民有地の地目別面積（課税対象分のみ）】

		田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	合計
面積 (千㎡)	平群町	3,219	1,733	2,383	0	9,280	44	399	17,058
	奈良県	181,678	78,179	154,988	10,485	880,285	17,072	54,603	1,377,291
構成比	平群町	18.9%	10.2%	14.0%	0.0%	54.4%	0.3%	2.3%	100.0%
	奈良県	13.2%	5.7%	11.3%	0.8%	63.9%	1.2%	4.0%	100.0%

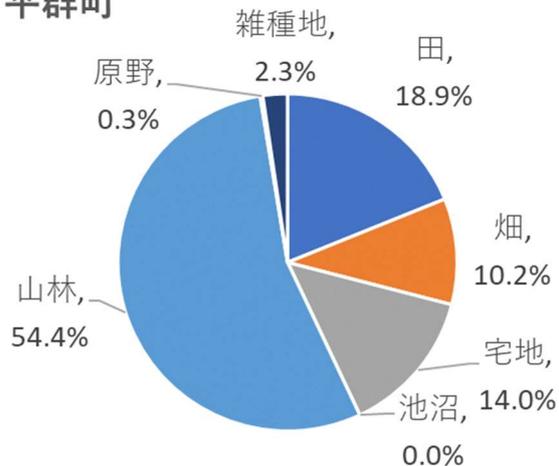
資料：令和元年度統計年鑑（奈良県）

【平成 26 年 民有地の地目別面積（課税対象分のみ）】

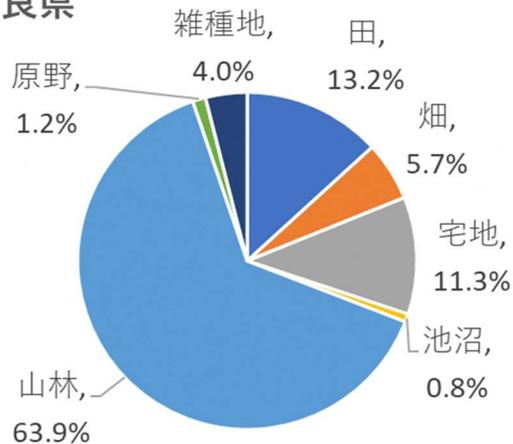
		田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	合計
面積 (千㎡)	平群町	3,420	1,622	2,325	0	8,889	38	340	16,633
	奈良県	189,153	80,368	151,328	10,550	877,730	16,700	51,589	1,377,420
構成比	平群町	20.6%	9.8%	14.0%	0.0%	53.4%	0.2%	2.0%	100.0%
	奈良県	13.7%	5.8%	11.0%	0.8%	63.7%	1.2%	3.7%	100.0%

資料：平成 26 年度統計年鑑（奈良県）

平群町



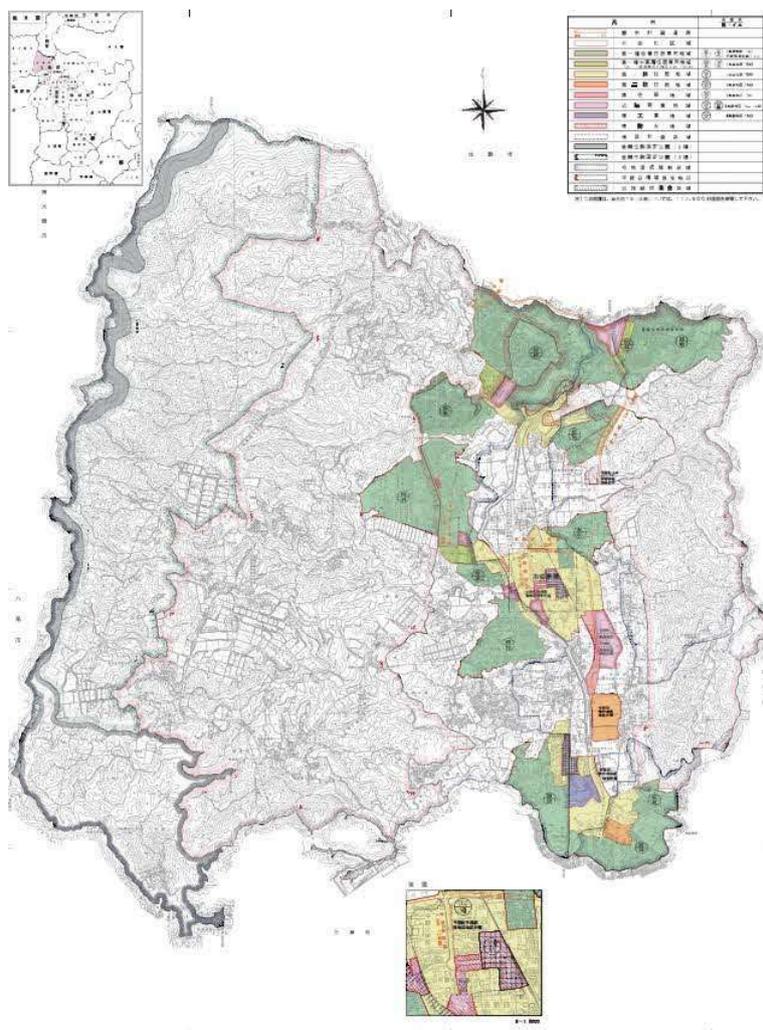
奈良県



- ・用途地域の構成比をみると、市街化区域の約6割が第1種低層住居専用に指定され、住宅を主とした用途地域が大部分を占めている。

【用途地域の構成比】

用途地域	面積(ha)	構成比	建ぺい率/容積率
1種低層住居専用	247.7	67.0%	40/60,50/80
1種中高層住居専用	7.3	2.0%	40/100,60/200
1種住居地域	75.8	20.5%	60/200
2種住居地域	10.6	2.9%	60/200
準住居地域	4.0	1.1%	60/200
近隣商業地域	20.0	5.4%	80/200,80/300
準工業地域	4.5	1.2%	60/200
合計	369.9	100.0%	-



資料：令和元年度統計年鑑（奈良県）、平群町都市計画図（平群町経済建設課）

2. 平群町の現状と特性把握

2-1. 人口

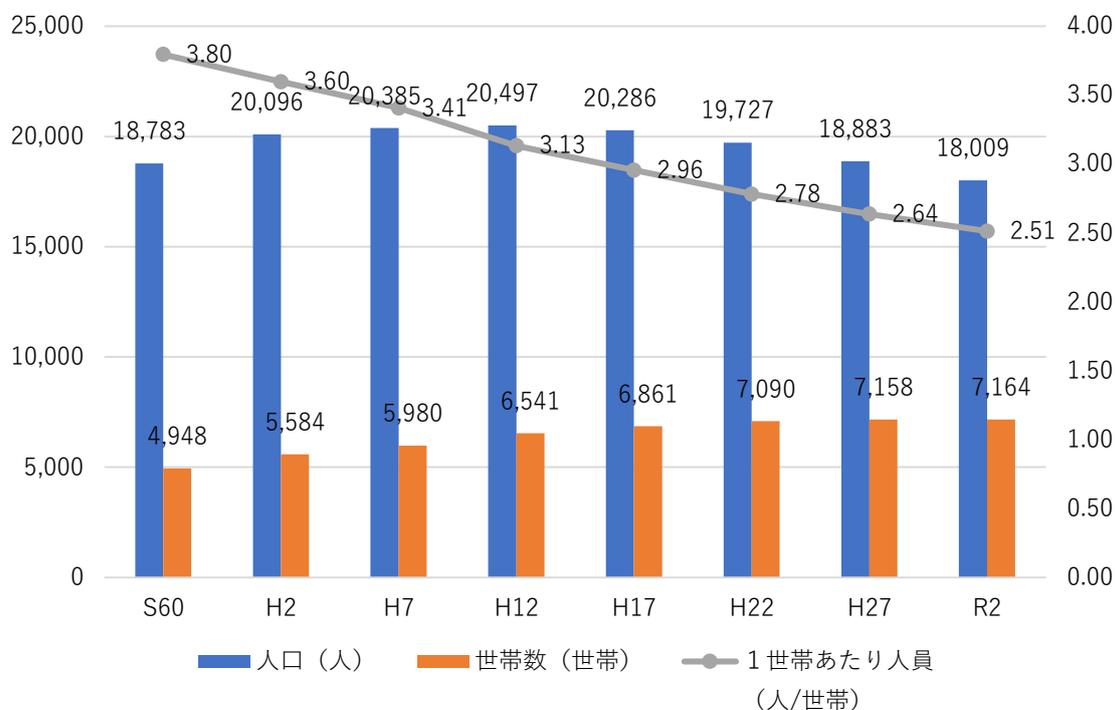
(1) 人口・世帯動向

- ・国勢調査によると、令和2年の人口は18,009人、世帯数は7,164世帯、1世帯あたりの人員は2.51人となっている。
- ・人口は、平成12年の20,497人をピークに減少が続いている。
- ・世帯数は年々増加しているが、1世帯あたりの人員は昭和60年の3.80人をピークに減少している。

【人口・世帯数の推移】

	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
人口（人）	18,783	20,096	20,385	20,497	20,286	19,727	18,883	18,009
世帯数（世帯）	4,948	5,584	5,980	6,541	6,861	7,090	7,158	7,164
1世帯あたり人員 （人/世帯）	3.80	3.60	3.41	3.13	2.96	2.78	2.64	2.51
人口増加率（％）	-	6.99	1.44	0.55	-1.03	-2.76	-4.28	-4.63
世帯増加率（％）	-	12.85	7.09	9.38	4.89	3.34	0.96	0.08

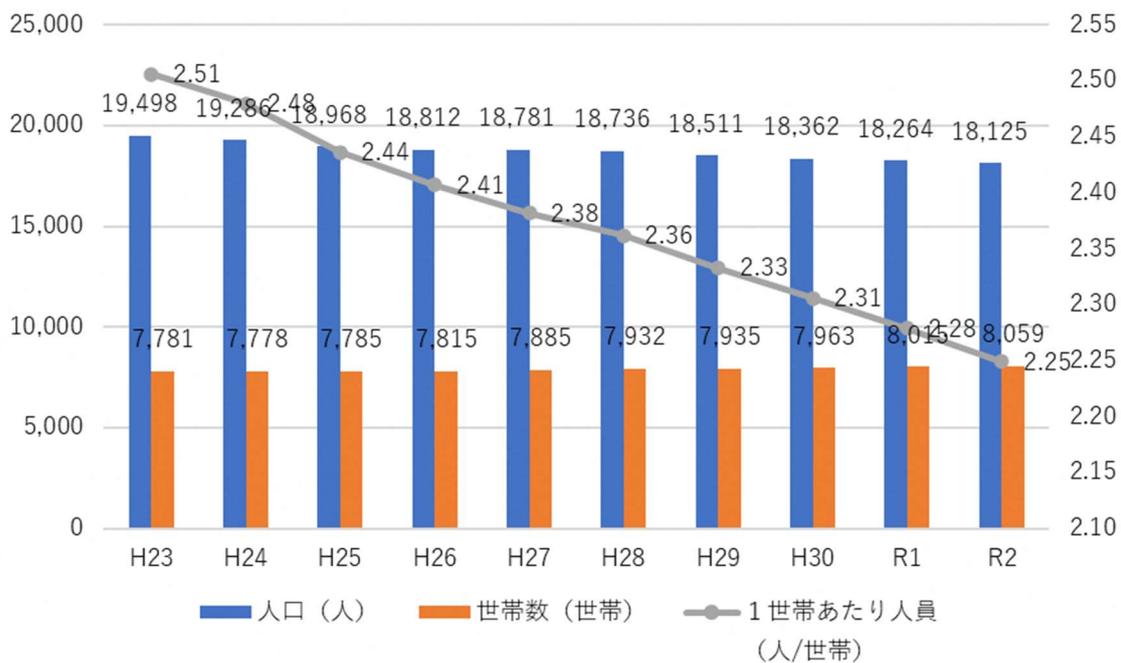
※人口増加率、世帯増加率は5年前と比較



資料：令和2年国勢調査

【直近 10 年の人口・世帯数の推移】

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
人口（人）	19,498	19,286	18,968	18,812	18,781	18,736	18,511	18,362	18,264	18,125
世帯数（世帯）	7,781	7,778	7,785	7,815	7,885	7,932	7,935	7,963	8,015	8,059
1世帯あたり人員 （人/世帯）	2.51	2.48	2.44	2.41	2.38	2.36	2.33	2.31	2.28	2.25

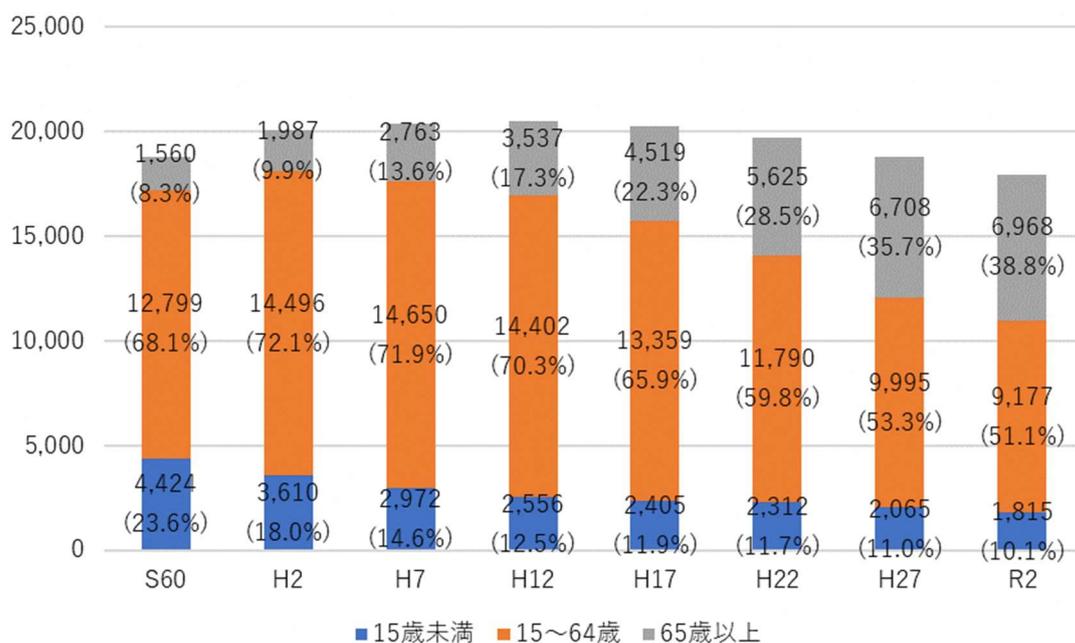


資料：奈良県推計人口調査（国勢調査とは集計方法が異なる）

(2) 年齢別人口構成

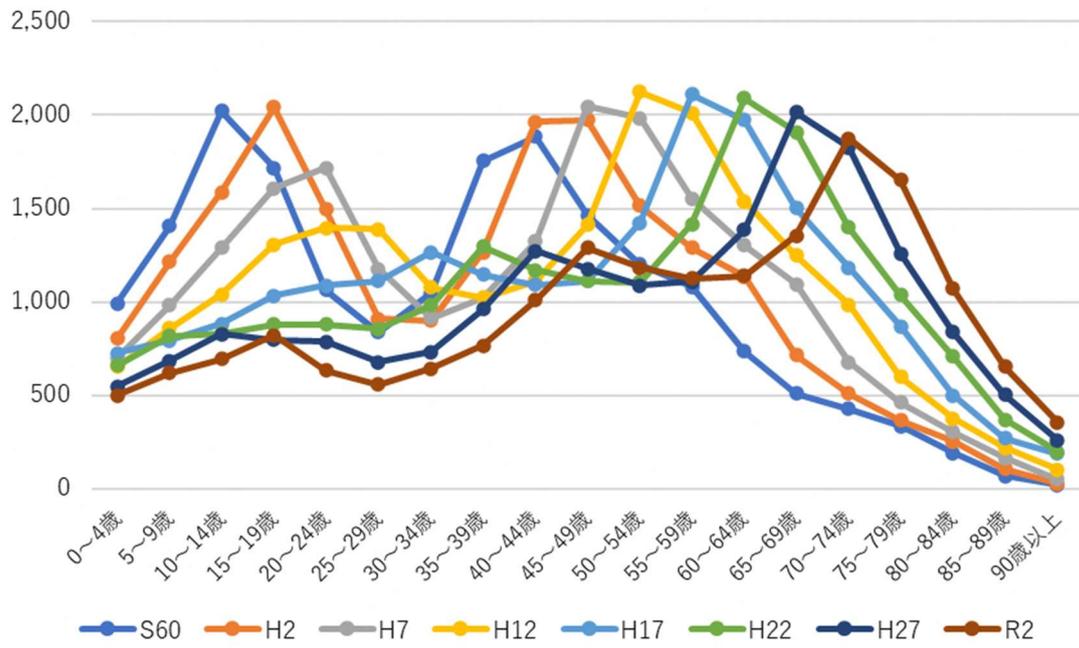
- ・国勢調査によると、令和2年の年少人口（0～14歳）は1,815人（10.1%）、生産年齢人口（15～64歳）は9,177人（51.1%）、老年人口（65歳以上）は6,968人（38.8%）となっている。
- ・老年人口割合が増加傾向、年少人口割合と生産年齢人口がともに減少傾向にあり、平成12年から老年人口が年少人口を上回っている。
- ・令和2年の5歳階級別人口をみると、最も多い階級は70～74歳となっており、次いで75～79歳である。また、生産年齢人口の中で最も少ないのは25～29歳となっている。
- ・昭和60年に10～14歳だった世代は令和2年に45～49歳になり、大幅に減少している。一方、昭和60年に25～29歳だった世代は令和2年に60～64歳になり、ゆるやかに増加している。

【年齢3区分別人口の推移（年齢不詳除く）】



資料：令和2年国勢調査

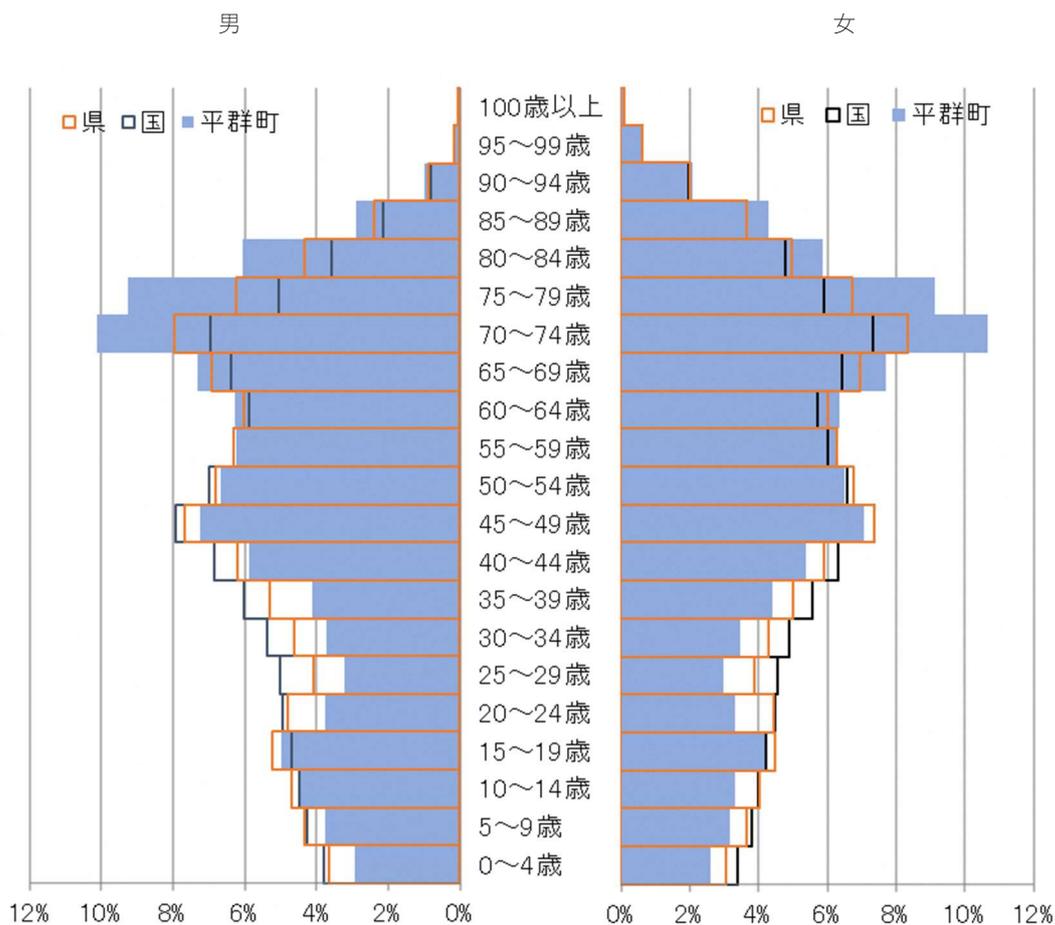
【5歳階級別人口の推移】



資料：令和2年国勢調査

- ・令和2年の国勢調査によると、総人口に占める5歳階級別人口の構成比をみると、60～89歳の人口割合が国・県と比べて高くなっている。
- ・一方、20歳～54歳の人口割合は、いずれも国・県より低くなっている。

【5歳階級別人口の構成比（総人口比）】



資料：令和2年国勢調査

・令和2年の国勢調査によると、本町の平均年齢は52.64歳となっており、県平均年齢よりも高くなっている。

【県内市町村における平均年齢(上位30位)】 【都道府県における平均年齢(上位30位)】

順位	市町村名	平均年齢(歳)
1	香芝市	44.37
2	天理市	45.58
3	広陵町	45.79
4	葛城市	46.06
5	王寺町	46.33
6	生駒市	47.26
7	橿原市	47.60
8	斑鳩町	47.83
9	田原本町	48.94
10	三郷町	49.10
11	奈良市	49.23
12	桜井市	49.36
13	川西町	49.79
14	大和郡山市	49.94
15	大和高田市	50.02
16	大淀町	51.37
17	安堵町	51.55
18	上牧町	51.68
19	三宅町	51.71
20	平群町	52.64
21	河合町	52.69
22	明日香村	53.90
23	五條市	54.49
24	宇陀市	54.63
25	高取町	54.89
26	十津川村	54.98
27	御所市	55.13
28	山添村	57.67
29	下市町	58.05
30	下北山村	59.72
	県平均	49.03

順位	都道府県名	平均年齢(歳)
1	沖縄県	43.38
2	東京都	45.26
3	愛知県	45.66
4	滋賀県	45.94
5	神奈川県	46.46
6	福岡県	46.73
7	埼玉県	46.89
8	大阪府	46.97
9	千葉県	47.12
10	宮城県	47.52
11	広島県	47.73
12	京都府	47.78
13	兵庫県	47.89
14	栃木県	47.99
15	石川県	48.01
16	佐賀県	48.15
17	岡山県	48.17
18	茨城県	48.23
19	三重県	48.40
20	岐阜県	48.42
21	静岡県	48.45
22	新潟県	48.47
23	群馬県	48.51
24	福井県	48.54
25	熊本県	48.64
26	奈良県	49.03
27	香川県	49.10
28	山梨県	49.11
29	宮崎県	49.28
30	鳥取県	49.35
	全国平均	47.66

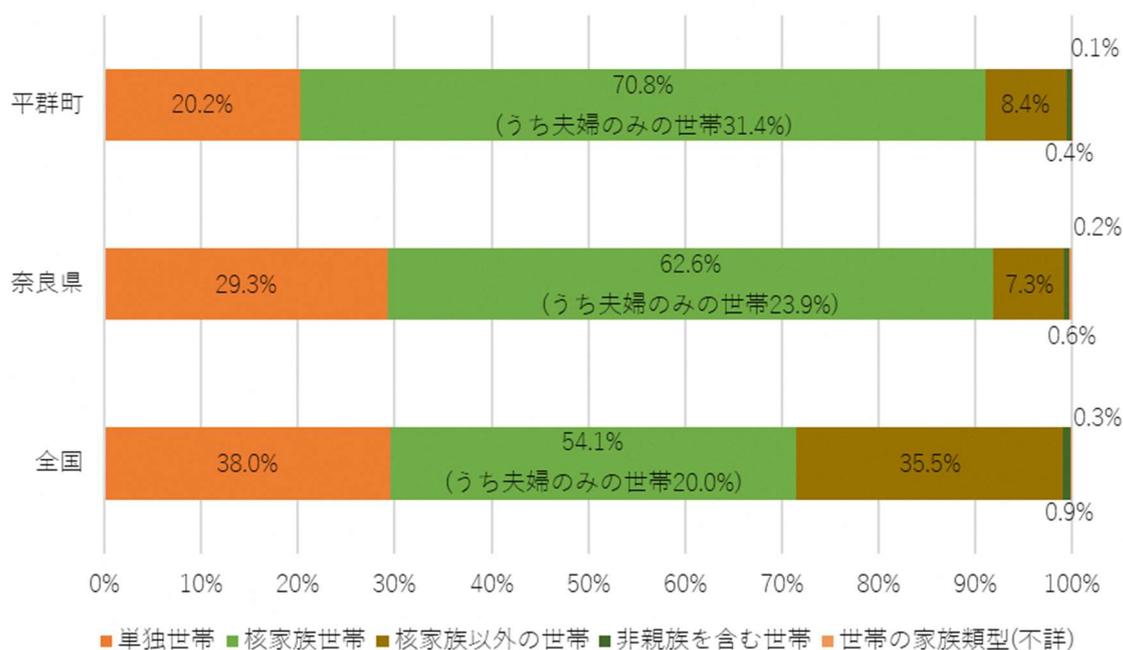
資料：令和2年国勢調査

(3) 家族類型

- ・令和2年の国勢調査によると、家族類型の構成割合は親族のみの世帯の割合が79.2%、核家族世帯が70.8%、夫婦のみの世帯が31.4%となっており、いずれも奈良県と全国の割合を上回っている。
- ・一方で、単身世帯が20.2%と、奈良県の29.3%、全国の38.0%を下回っている。

【家族類型別世帯数の構成比】

		単身世帯	親族のみの世帯	核家族世帯		核家族以外の世帯	非親族を含む世帯	世帯の家族類型「不詳」	総数(世帯の家族類型)
					うち夫婦のみの世帯				
世帯数(世帯)	全国	21,151,042	33,889,589	30,110,571	11,158,840	19,771,755	504,198	160,120	55,704,949
	奈良県	159,204	380,297	340,422	129,786	39,875	3,099	1,308	543,908
	平群町	1,448	5,677	5,073	2,252	604	32	7	7,164
構成比	全国	38.0%	60.8%	54.1%	20.0%	35.5%	0.9%	0.3%	100.0%
	奈良県	29.3%	69.9%	62.6%	23.9%	7.3%	0.6%	0.2%	100.0%
	平群町	20.2%	79.2%	70.8%	31.4%	8.4%	0.4%	0.1%	100.0%



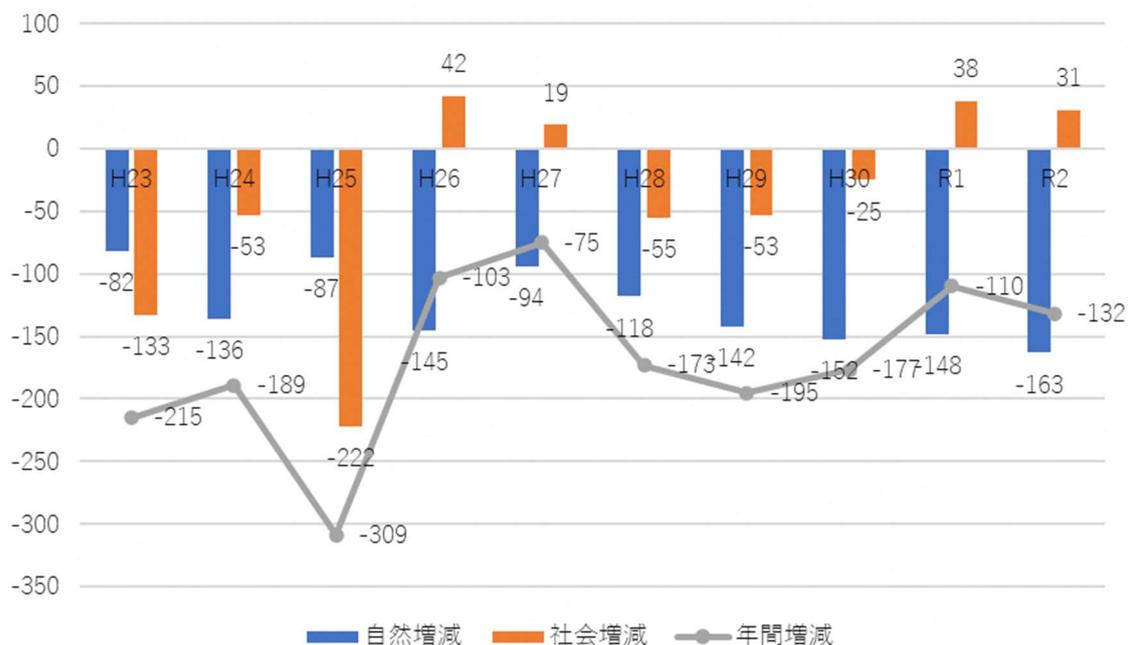
資料：令和2年国勢調査

(4) 人口動態

- ・自然増減は、死亡が出生を上回りマイナスになっているが、平成 29 年以降は特に大きくマイナスになっている。
- ・社会増減は、転入が転出を上回りプラスになっており、転出者も減少傾向にある。
- ・転入・転出先となる市町村をみると、生駒市、奈良市、三郷町、王寺町での転入出が多くなっている。

【人口動態の推移】

		H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
年間増減	(人)	-215	-189	-309	-103	-75	-173	-195	-177	-110	-132
自然増減	(人)	-82	-136	-87	-145	-94	-118	-142	-152	-148	-163
	出生	93	97	99	74	105	93	84	92	80	73
	死亡	175	233	186	219	199	211	226	244	228	236
社会増減	(人)	-133	-53	-222	42	19	-55	-53	-25	38	31
	転入	447	515	405	530	553	458	460	511	516	486
	転出	580	568	627	488	534	513	513	536	478	455



資料：人口動態調査、住民基本台帳人口移動報告

【常住地による人口移動（平成 30 年）】

転入 超過	平群町	奈良県				大阪府	京都府	兵庫県	その他
		生駒市	奈良市	三郷町	王寺町				
		75人	41人	30人	19人				
		斑鳩町	香芝市	橿原市	その他				
	15人	11人	10人	51人	112人	19人	16人	87人	
奈良県	大阪府	京都府	兵庫県	東京都	愛知県	三重県	神奈川県	千葉県	
	8989人	2282人	1817人	1526人	885人	883人	661人	546人	
転出 超過	平群町	奈良県				大阪府	東京都	京都府	その他
		奈良市	生駒市	三郷町	王寺町				
		50人	31人	26人	16人				
		大和郡山市	その他						
	12人	58人			128人	28人	20人	86人	
奈良県	大阪府	京都府	東京都	兵庫県	愛知県	神奈川県	三重県	千葉県	
	9536人	2710人	2258人	1993人	1092人	932人	859人	621人	

資料：住民基本台帳人口移動報告

(5) 人口流動

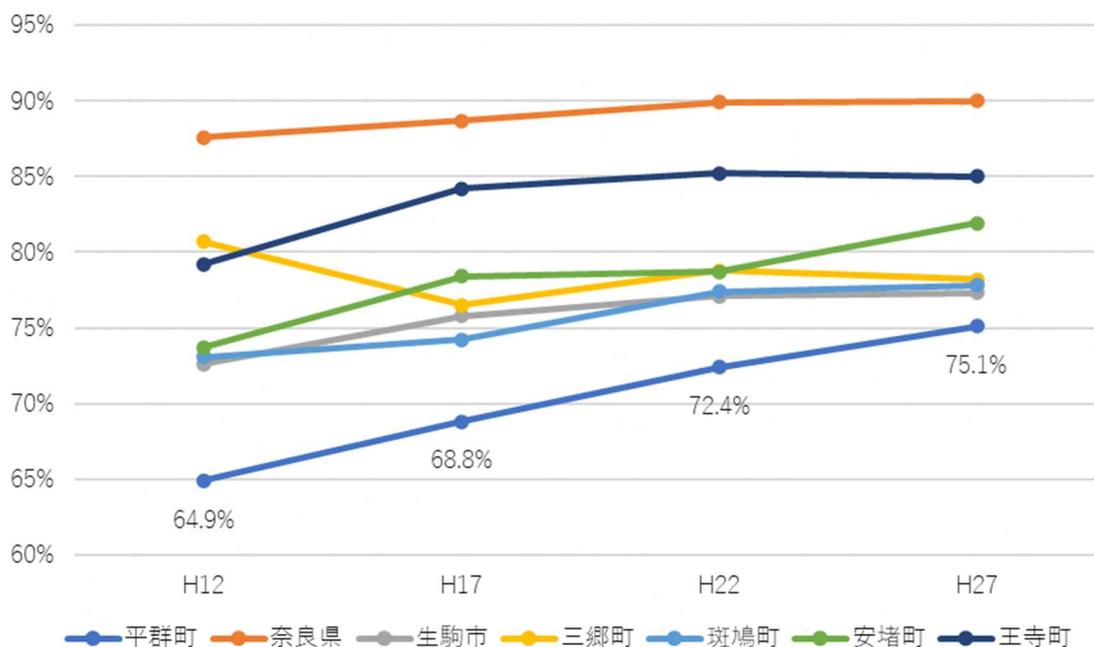
- ・国勢調査によると、平成 27 年における流入人口は 1,626 人、流出人口は 6,320 人となっており、4,694 人の流出超過となっている。
- ・平成 27 年の昼間人口指数は 75.1%で、近年では最も高くなっている。県及び周辺市町と比較すると最も低くなっているが、過去 15 年の増加率は最も大きい。

【通勤・通学流動の推移】

	流入人口 (人)			流出人口 (人)			夜間人口 (人)	昼間人口 (人)	昼間人口指数
	総数	県内他市区町村	他県	総数	県内他市区町村	他県			
H2	806	679	127	8,593	2,785	5,808	20,096	12,306	61.2%
H7	910	811	99	8,793	2,873	5,920	20,385	12,502	61.3%
H12	1,097	999	98	8,290	2,908	5,382	20,497	13,302	64.9%
H17	1,332	1,228	104	7,662	3,014	4,648	20,286	13,953	68.8%
H22	1,482	1,380	102	6,922	3,052	3,870	19,727	14,287	72.4%
H27	1,626	1,482	144	6,320	2,956	3,364	18,883	14,189	75.1%

資料：平成 27 年国勢調査

【奈良県及び周辺市町における昼間人口指数の推移】



資料：平成 27 年国勢調査

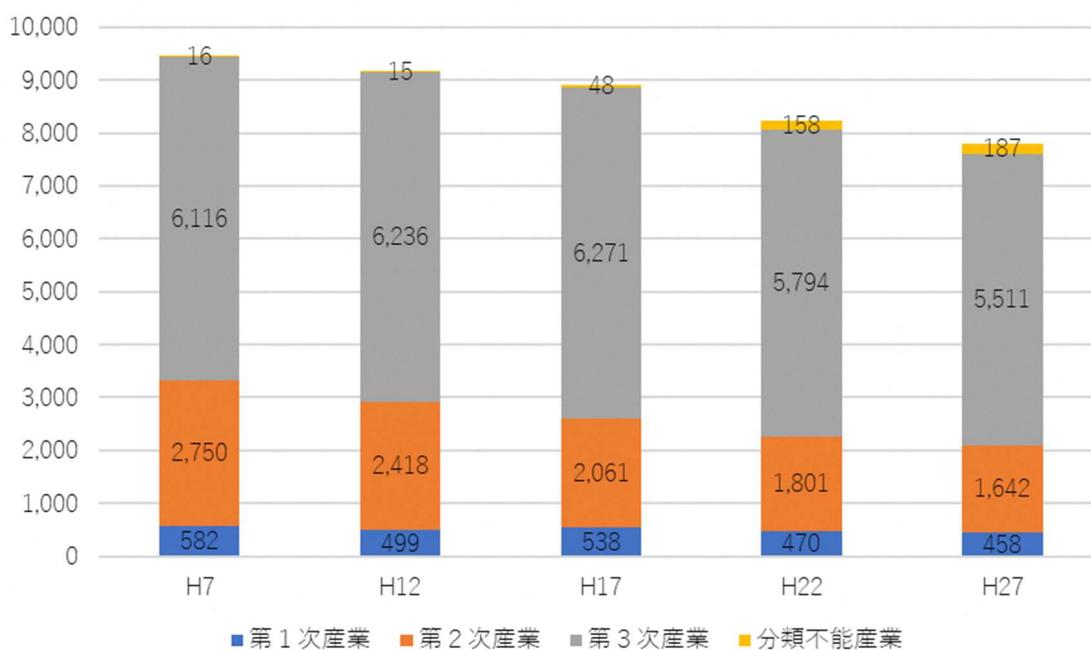
2-2. 経済・産業

(1) 産業概要

- ・従業者の総数は平成7年をピークに減少している。
- ・第1次産業の割合はほぼ横ばいで推移しているが、第2次産業の割合はやや減少傾向にあり、第3次産業の割合が70%を占めている。

【産業別従業者数の推移】

	H7		H12		H17		H22		H27	
	就業者数	割合								
総数	9,464		9,168		8,918		8,223		7,798	
第1次産業	582	6.1%	499	5.4%	538	6.0%	470	5.7%	458	5.9%
第2次産業	2,750	29.1%	2,418	26.4%	2,061	23.1%	1,801	21.9%	1,642	21.1%
第3次産業	6,116	64.6%	6,236	68.0%	6,271	70.3%	5,794	70.5%	5,511	70.7%
分類不能産業	16	0.2%	15	0.2%	48	0.5%	158	1.9%	187	2.4%



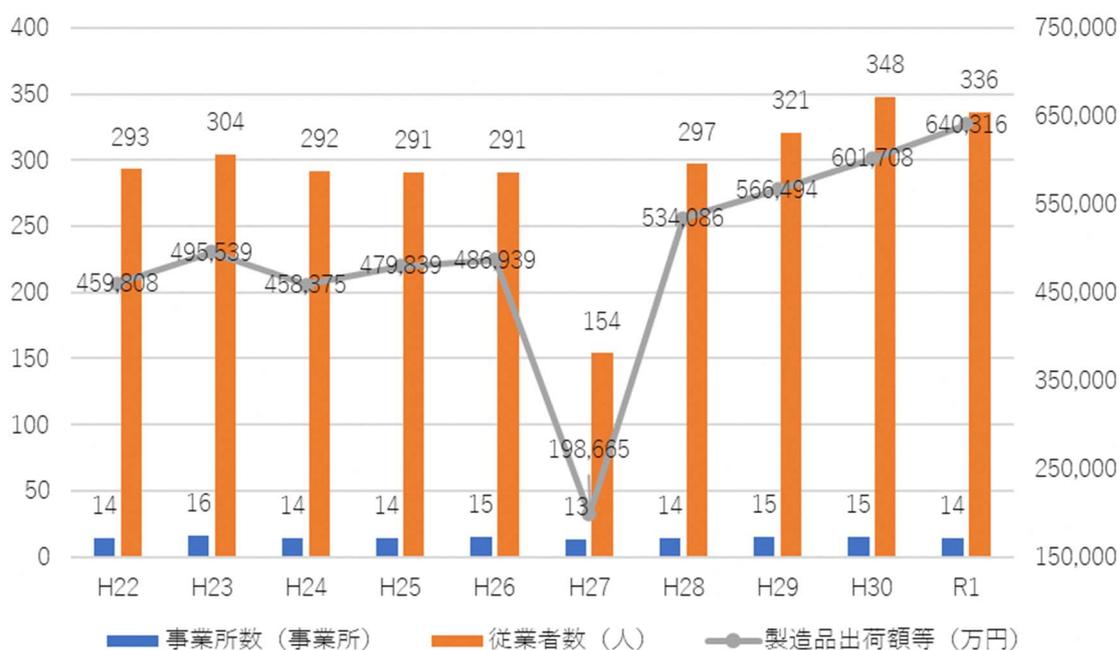
資料：平成27年国勢調査

(2) 工業

- ・工業統計調査によると、令和元年の事業所数は14事業所、従業者数は336人、製造品出荷額は64億円となっている。
- ・事業所数はほぼ横ばいで推移しており、従業者数は、令和元年はやや減少したが全体的にみると増加傾向にある。製造品出荷額等をみると平成28年以降、各年3～4億円増が続いている。
- ・平成27年のみ、従業者数と製造品出荷額等が大幅に減少している。

【工業の推移】

	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
事業所数 (事業所)	14	16	14	14	15	13	14	15	15	14
従業者数 (人)	293	304	292	291	291	154	297	321	348	336
製造品出荷額等 (万円)	459,808	495,539	458,375	479,839	486,939	198,665	534,086	566,494	601,708	640,316
1事業所あたり (万円)	32,843	30,971	32,741	34,274	32,463	15,282	38,149	37,766	40,114	45,737
1従業員あたり (万円)	1,569	1,630	1,570	1,649	1,673	1,290	1,798	1,765	1,729	1,906



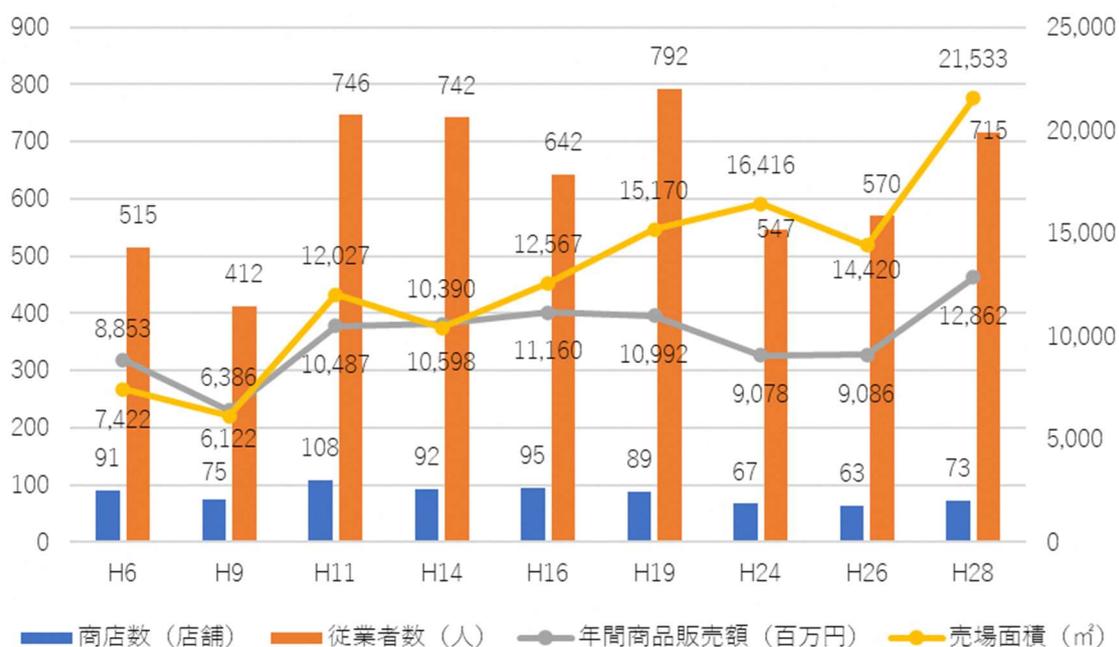
資料：工業統計調査、経済センサス

(3) 商業

- ・商業統計調査によると、平成28年の小売業に関する商店数は73店舗、従業者数は715人、年間商品販売額は約128億円となっている。
- ・平成6年と平成28年を比較すると、商店数は20件減少しているが、従業者数、年間商品販売額、売場面積が増加している。また1店舗あたり販売額は約1.8倍、1店舗あたり売場面積は約3.6倍に増加している一方、売場面積あたり販売額は約5割に減少している。

【商業（小売業）の推移】

	H6	H9	H11	H14	H16	H19	H24	H26	H28
商店数（店舗）	91	75	108	92	95	89	67	63	73
従業者数（人）	515	412	746	742	642	792	547	570	715
年間商品販売額（百万円）	8,853	6,386	10,487	10,598	11,160	10,992	9,078	9,086	12,862
売場面積（㎡）	7,422	6,122	12,027	10,390	12,567	15,170	16,416	14,420	21,533
1店舗あたり販売額（百万円/店舗）	97.29	85.15	97.10	115.20	117.47	123.51	135.49	144.22	176.19
1店舗あたり売場面積（㎡/店舗）	81.56	81.63	111.36	112.93	132.28	170.45	245.01	228.89	294.97
売場面積あたり販売額（百万円/㎡）	1.19	1.04	0.87	1.02	0.89	0.72	0.55	0.63	0.60



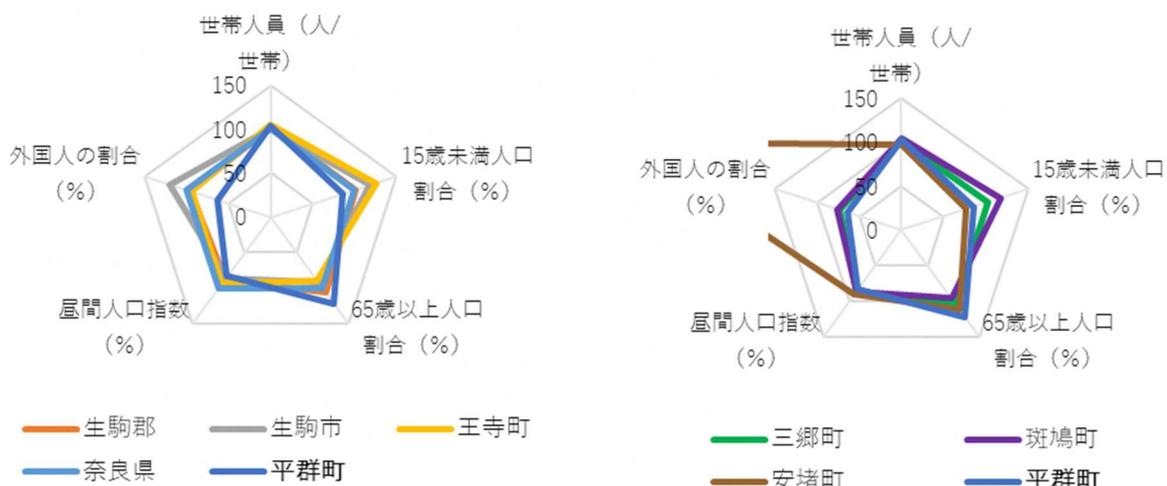
資料：商業統計調査、経済センサス

3. 都市間比較

(1) 人の状況

- 世帯人員は、県全体、生駒郡全体とほぼ同じ値となっている。
- 人口増減率は、県全体、生駒郡全体と比較すると低い。
- 15歳未満人口割合は、県全体、生駒郡全体と比較すると低い。
- 65歳以上人口割合は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 昼間人口指数は、県全体、生駒郡全体と比較すると低い。
- 外国人の割合は、県全体、生駒郡全体と比較すると低い。
- 生駒郡の中で比較すると、65歳以上人口割合が最も高い。

【奈良県全体を100としたときのレーダーチャート】



	平群町	生駒郡				生駒市	王寺町	奈良県
		三郷町	斑鳩町	安堵町				
人口(人)	18,009	76,040	23,219	27,587	7,225	116,675	24,043	1,324,473
世帯(世帯数)	7,164	30,582	9,463	10,891	3,064	47,617	9,347	543,908
世帯人員(人/世帯)	2.51	2.49	2.45	2.53	2.36	2.45	2.57	2.44
人口増減率(%)	-4.63	-1.50	-1.49	1.04	-2.93	-1.32	4.42	-2.92
15歳未満人口割合(%)	10.11	11.94	12.06	13.96	9.08	13.86	14.75	11.81
65歳以上人口割合(%)	38.80	33.45	32.61	30.58	35.53	28.86	28.34	31.73
昼間人口指数(%)※	75.14	78.84	78.18	77.79	81.88	77.28	84.95	90.04
外国人の割合(%)	0.55	0.83	0.64	0.66	2.81	1.04	0.81	0.87

資料：令和2年国勢調査
※のみ平成27年国勢調査

(2) 生活環境 I

- 1戸あたりの家庭用都市ガス使用量は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 人口1人あたりごみ排出量は、県全体、生駒郡全体とほぼ同じ値となっている。
- 人口1,000人あたり建物火災出火件数は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 人口1,000人あたり刑法犯認知件数は、県全体より低く、生駒郡全体より高い。
- 人口1,000人あたり交通事故発生件数は、県全体より低く、生駒郡全体より高い。
- 生駒郡の中で比較すると、1戸あたりの家庭用都市ガス使用量と人口1,000人あたり建物火災出火件数は最も高い。

【奈良県全体を100としたときのレーダーチャート】



	平群町	生駒郡	生駒郡			生駒市	王寺町	奈良県
			三郷町	斑鳩町	安堵町			
1戸あたり家庭用都市ガス使用量 (千MJ)	18.04	16.27	15.06	17.49	13.96	19.16	18.28	16.02
人口1人あたりごみ排出量 (t)	0.34	0.32	0.36	0.27	0.30	0.02	0.09	0.30
人口1,000人あたり建物火災出火件数 (件)	0.27	0.12	0.04	0.07	0.14	0.09	0.08	0.16
人口1,000人あたり刑法犯認知件数 (件)	3.83	3.58	3.26	3.79	3.15	2.60	4.85	4.34
人口1,000人あたり交通事故発生件数 (件)	2.19	2.07	1.07	2.77	2.33	1.69	3.16	2.50

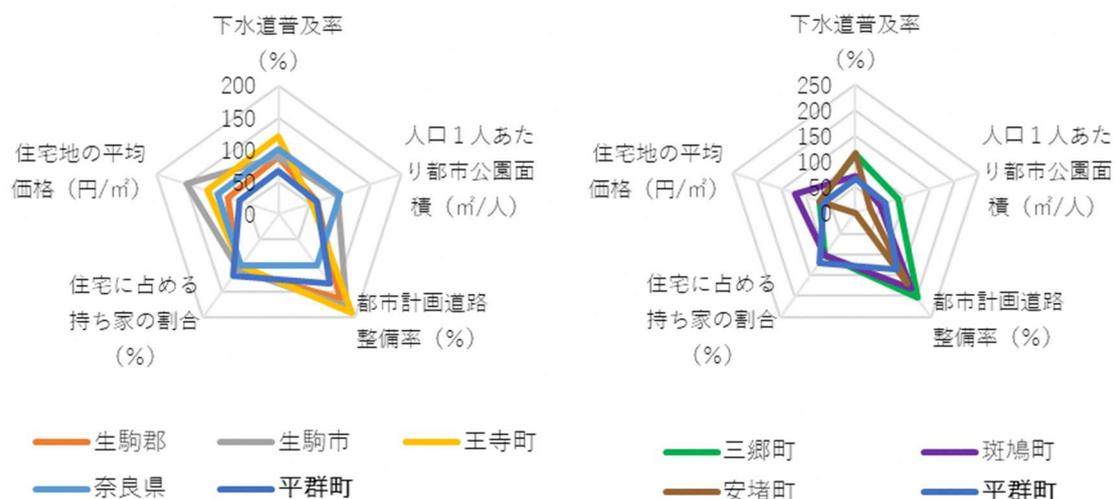
資料

- ・ 地域別用途別ガス需要戸数及び消費量 (平成28年度奈良県統計年鑑)
- ・ ごみ収集総量を人口で除した値 (令和元年度一般廃棄物処理実態調査結果)
- ・ 建物火災件数を人口で除した値 (令和元年消防年報、令和元年奈良県推計人口調査)
- ・ 令和2年末市町村別犯罪認知状況
- ・ 交通事故件数を人口で除した値 (令和2年奈良県の交通事故統計、令和元年奈良県推計人口調査)

(3) 生活環境Ⅱ

- 下水道普及率は、県全体、生駒郡全体と比較すると低い。
- 人口1人あたり都市公園面積は、県全体、生駒郡全体と比較すると低い。
- 都市計画道路整備率は、県全体より高く、生駒郡全体より低い。
- 住宅に占める持ち家の割合は、県全体より高く、生駒郡全体より低い。
- 住宅地の平均価格は、県全体、生駒郡全体と比較すると低い。
- 生駒郡の中で比較すると、住宅に占める持ち家の割合は最も高くなっている一方で、下水道普及率、都市計画道路整備率および住宅地の平均価格は最も低くなっている。

【奈良県全体を100としたときのレーダーチャート】



	平群町	生駒郡	生駒郡			生駒市	王寺町	奈良県
			三郷町	斑鳩町	安堵町			
下水道普及率 (%)	54.50	71.43	93.34	58.85	94.50	70.91	97.24	80.67
人口1人あたり都市公園面積 (㎡/人)	8.26	8.42	11.74	6.88	4.01	12.98	7.18	13.50
都市計画道路整備率 (%)	63.02	75.87	95.28	84.42	79.74	82.84	89.31	46.57
住宅に占める持ち家の割合 (%)	88.31	79.71	76.12	76.65	-	79.45	73.17	74.10
住宅地の平均価格 (円/㎡)	39,858	51,329	45,525	75,118	44,814	92,797	71,683	61,536

資料

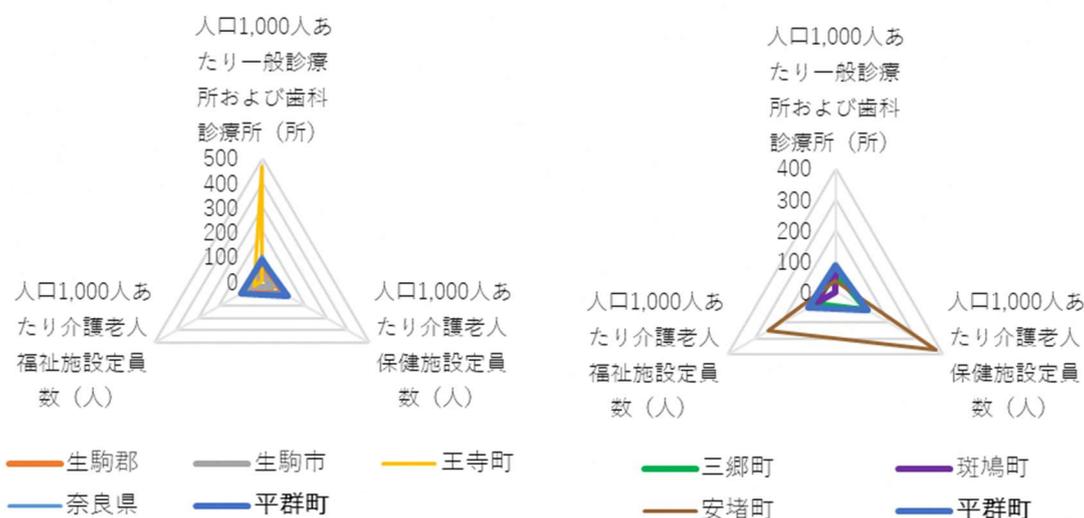
- ・下水道普及状況（令和元年度奈良県統計年鑑）
- ・平成30年度の都市公園面積を人口で除した値（都市公園等整備現況調査、奈良県推計人口調査）
- ・令和元年度道路施設現況調査、令和2年奈良県市町村要覧
- ・平成30年度の持ち家数を住宅総数で除した値（住宅・土地統計調査報告）※安堵町のみデータなし
- ・令和3年奈良県地価調査

※住宅地の平均価格の生駒郡の値は4町の平均を算出

(4) 保健福祉

- 人口 1,000 人あたりの一般診療所および歯科診療所数は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 人口 1,000 人あたり介護老人保健施設定員数は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 人口 1,000 人あたり介護老人福祉施設定員数は、県全体とほぼ同じ値で、生駒郡全体より高い。
- 生駒郡の中で比較すると、人口 1,000 人あたりの一般診療所および歯科診療所数が最も高い。

【奈良県全体を 100 としたときのレーダーチャート】



	平群町	生駒郡	三郷町	斑鳩町	安堵町	生駒市	王寺町	奈良県
人口1,000人あたり一般診療所および歯科診療所 (所)	1.20	1.02	0.86	1.17	0.55	0.37	6.62	1.42
人口1,000人あたり介護老人保健施設定員数 (人)	4.36	3.66	4.28	0.00	13.59	1.70	0.00	3.64
人口1,000人あたり介護老人福祉施設定員数 (人)	5.45	5.23	4.28	3.65	13.59	2.88	2.11	5.44

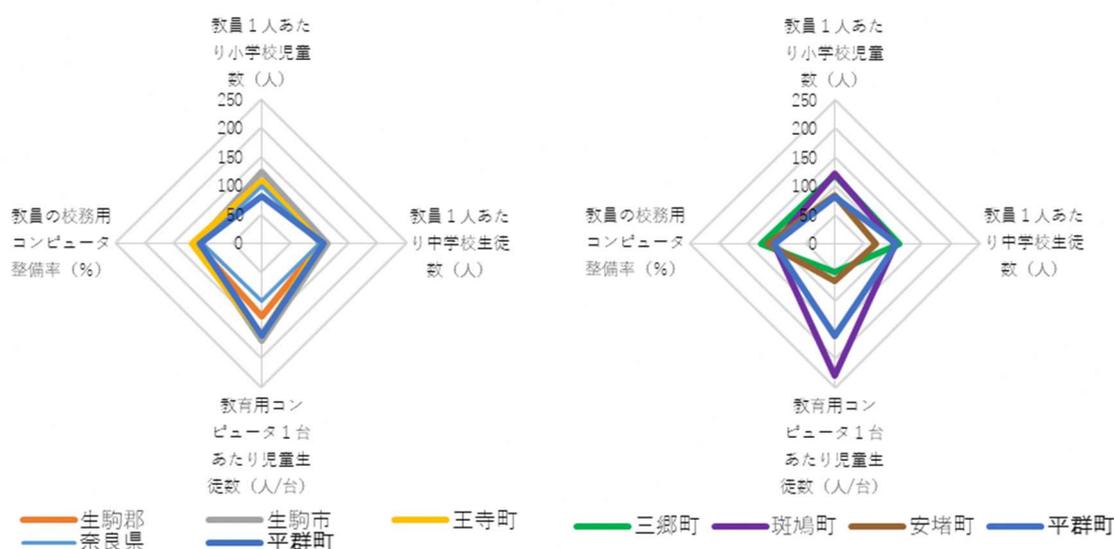
資料

- ・令和元年の一般診療所数および歯科診療所数を人口で除した値（医療施設調査、奈良県推計人口調査）
- ・平成 30 年度の介護老人保健施設定員数を人口で除した値（介護サービス施設・事業所調査、奈良県推計人口調査）
- ・平成 30 年度の介護老人福祉施設定員数を人口で除した値（介護サービス施設・事業所調査、奈良県推計人口調査）

(5) 教育文化

- 教員 1 人あたり小学校児童数は、県全体より低く、生駒郡全体より高い。
- 教員 1 人あたり中学校生徒数は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 教育用コンピュータ 1 台あたり児童生徒数は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 教員の校務用コンピュータ整備率は、県全体より高く、生駒郡全体より低い。
- 普通教室の大型掲示装置整備率は、県全体、生駒郡全体と比較すると低くなっており、生駒郡の中で最も低い。

【奈良県全体を 100 としたときのレーダーチャート】



	平群町	生駒郡	生駒市			王寺町	奈良県	
			三郷町	斑鳩町	安堵町			
教員 1 人あたり小学校児童数 (人)	11.28	14.80	16.57	16.80	11.67	17.41	15.15	13.92
教員 1 人あたり中学校生徒数 (人)	13.50	13.03	13.95	13.15	8.93	14.53	13.12	12.61
教育用コンピュータ 1 台あたり児童生徒数 (人/台)	7.9	6.2	2.4	11.2	3.2	8.3	7.8	4.9
教員の校務用コンピュータ整備率 (%)	110.7	119.2	134.5	110.1	121.6	119.4	125.6	105.7
普通教室の大型掲示装置整備率 (%)	12.5	60.9	100.0	81.0	50.0	92.2	21.7	25.1

資料

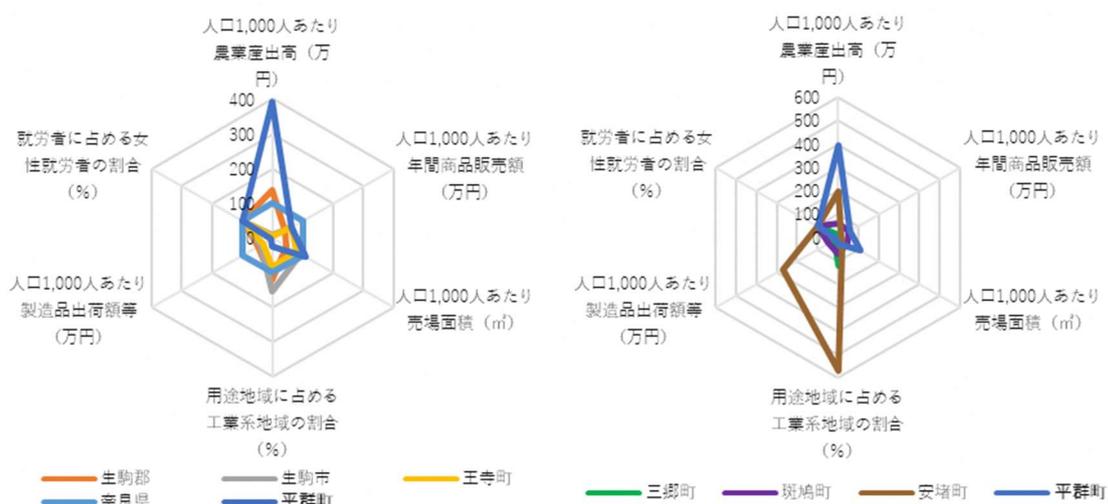
- ・ 小学校の児童数を教員数（本務者）で除した値（令和元年度学校基本調査結果報告書）
- ・ 中学校の生徒数を教員数（本務者）で除した値（令和元年度学校基本調査結果報告書）
- ・ 令和元年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果

※教育用 PC 児童生徒数、校務用 PC 整備率、大型掲示装置整備率の生駒郡の値は 4 町の平均を算出

(6) 産業

- 人口 1,000 人あたり農業産出額は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 人口 1,000 人あたり年間商品販売額は、県全体より低く、生駒郡全体より高い。
- 人口 1,000 人あたり売場面積は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 用途地域に占める工業系地域の割合は、県全体、生駒郡全体と比較すると低い。
- 人口 1,000 人あたり製造品出荷額等は、県全体、生駒郡全体と比較すると低い。
- 就労者に占める女性就労者の割合は、県全体、生駒郡全体とほぼ同じ値となっている。
- 生駒郡の中で比較すると、人口 1,000 人あたり農業産出額と人口 1,000 人あたり売場面積、人口 1,000 人あたり年間商品販売額は最も高くなっている一方で、用途地域に占める工業系地域の割合と人口 1,000 人あたり製造品出荷額等は最も低くなっている。

【奈良県全体を 100 としたときのレーダーチャート】



	平群町	生駒郡				生駒市	王寺町	奈良県
			三郷町	斑鳩町	安堵町			
人口1,000人あたり農業産出高 (万円)	11,881	4,220	429	1,860	6,022	291	127	3,023
人口1,000人あたり年間商品販売額 (万円)	91,407	59,495	21,699	79,943	23,830	90,764	91,709	147,181
人口1,000人あたり売場面積 (㎡)	1,149	485	76	457	208	939	839	1,040
用途地域に占める工業系地域の割合 (%)	1.22	5.80	5.87	3.32	27.81	7.46	4.05	4.87
人口1,000人あたり製造品出荷額等 (万円)	10,603	65,787	21,061	61,136	364,516	55,595	43,088	135,977
就労者に占める女性就労者の割合 (%)	43.36	43.47	43.67	43.66	42.45	43.11	43.76	43.86

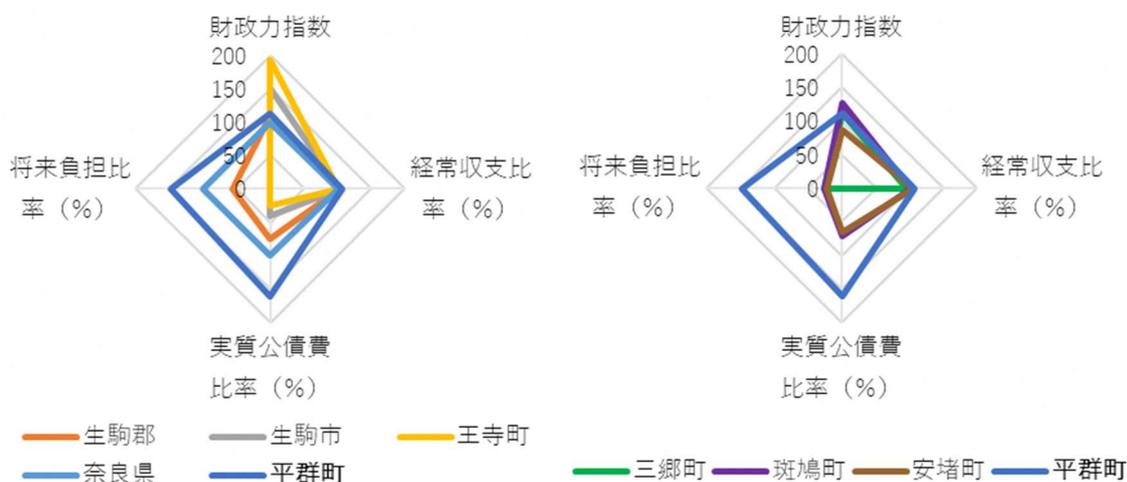
資料

- ・ 農業産出額を人口で除した値 (令和元年度生産農業所得統計、令和元年度奈良県推計人口調査)
- ・ 卸・小売業別の年間商品販売額を人口で除した値 (平成 28 年経済センサス、平成 28 年奈良県推計人口調査)
- ・ 売場面積を人口で除した値 (平成 28 年経済センサス、平成 28 年奈良県推計人口調査)
- ・ 工業系地域 (準工業、工業、工業専用地域) を用途地域の総面積で除した値 (令和元年都市計画年報)
- ・ 製造品出荷額等を人口で除した値 (平成 28 年経済センサス、平成 28 年奈良県推計人口調査)
- ・ 女性就業者数を全就業者数で除した値 (平成 27 年国勢調査)

(7) 行政基盤

- 財政力指数は、県全体より高く、生駒郡全体とほぼ同じ値となっている。
- 経常収支比率は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 実質公債費比率は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 将来負担比率は、県全体、生駒郡全体と比較すると高い。
- 生駒郡の中で比較すると、経常収支比率はやや高くなっており、実質公債費比率と将来負担比率が突出して高くなっている。

【奈良県全体を 100 としたときのレーダーチャート】



	平群町	生駒郡	生駒郡			生駒市	王寺町	奈良県
			三郷町	斑鳩町	安堵町			
財政力指数	0.48	0.47	0.48	0.54	0.37	0.65	0.83	0.43
経常収支比率 (%)	98.9	94.7	88.6	93.6	97.6	96.1	93.5	92.8
実質公債費比率 (%)	15.6	7.20	0.0	6.9	6.3	4.0	2.5	9.7
将来負担比率 (%)	225.7	85.3	40.3	39.8	35.5	-	-	152.7

資料

・平成 30 年地方財政状況調査

※生駒郡の値は 4 町の平均を算出